

ワークショップ 詳細

 閉じる

空気をはかる技法

—あいまいさをデータ化する工夫と苦勞—

企画者	宮城学院女子大学	大橋 智樹
企画者	立命館大学	矢藤 優子
司会者	立命館大学	矢藤 優子
話題提供者	首都大学東京	樋口 貴広
話題提供者	立命館大学	矢藤 優子
話題提供者	常磐大学	申 紅仙
指定討論者	宮城学院女子大学	大橋 智樹
指定討論者	(財)国際高等研究所	木下 富雄

心理学においては、心という実体のない対象をいかにして客観的なデータに置き換えるかが、永遠の課題であろう。このような背景にあつて、心理学に関する研究法や技法の書籍は多数出版されているし、学部における心理学教育においても研究法へ精通させることは重点の1つとなっている。

しかし、企画者らは、これらにおいて扱われる内容に不足があると感じてきた。すなわち、明文化しづらい経験則的な“工夫”についての記述や教育が少ないことである。しかしこれらの工夫は、心をデータ化する際の重要な手続きであるし、また、そのような工夫を含めた研究手続きこそ、他の学問や社会から心理学に求められることが多いニーズなのである。このような工夫を広く言えば「空気をはかる」とまとめられよう。

本ワークショップは、各分野の専門家から各自の工夫の一端を紹介してもらい、心理学における研究方法のあり方についての将来展望を示すことを目的とする。

 閉じる

Copyright © 2010 The Japanese Psychological Association, All rights reserved.